

令和 5 年度第 2 回大垣市障がい者の暮らしを支える協議会議事要旨

令和 5 年 8 月 16 日(水)

13 : 30～15 : 15

大垣市役所 8 階 大会議室

出席者 : 18 名 欠席者 : 9 名

1. 健康福祉部長あいさつ

2. 第 2 期大垣市障がい者総合支援プランの骨子案について

(事務局より説明)

- ・ 次期計画の策定方針、国の動向、現計画との変更点、国の成果目標について

【質疑・意見】

- ・ 今回、計画期間を 3 年間から 6 年間に変更することだが、6 年間とするメリット・デメリット等あれば教えてほしい。
 - 国の動向等踏まえると、障がい福祉に関する施策等に大きな変化がみられないことや業務効率化のため、計画期間を 6 年間と変更したい。ただし、施策内容等に変更が生じれば、3 年に 1 度中間見直しを行う予定である。
- ・ 重度障がい者に対しての相談支援について、大垣市としてどのようなアプローチをしているのか。
 - 庁内には、福祉相談全般の総合相談窓口や基幹相談支援センターを設置し、若い方からお年寄りまで幅広く対応している。また、各部署間で連携して情報共有し、対象者に訪問するなどケース対応を行っている。地域の方であれば、社会福祉協議会と連携しながらきめ細かい相談対応を行っている。
- ・ 移動支援事業では、通学は事業の対象外となっているが、やむを得ない場合でも利用できないのか。市単の事業などで利用できる事業はないか。
 - 通学・通勤による移動支援の利用は、原則対象外であるが、やむを得ない事情がある場合は、検討させていただく。移動支援については要望が多いことから、事業拡充を検討したい。

- ・ 医療的ケア児に対するコーディネーターの配置について、第6期と第7期の障害福祉計画と比較して成果目標が変わっていないのはなぜか。

→ 国では、第6期の計画の中でコーディネーターの配置ができない場合を想定し、第7期の計画で同様の目標を設定したものと推測する。

3. 日中サービス支援型共同生活援助事業所の開設について (事務局、運営法人よりそれぞれ説明)

- ・ 事務局より概要説明
- ・ 新設事業所「もも福」について、㈱ナイスマンより施設概要説明

【質疑・意見】

別紙のとおり

4. 日中サービス支援型共同生活援助事業所の報告・評価について (事務局より説明)

- ・ 事務局より、評価（要望・助言）の視点について説明
- ・ 事業所「綴（つづり）」より質問事項等に対する回答

【質疑・意見】

特になし。

令和5年度第2回大垣市障がい者の暮らしを支える協議会全体会

「日中サービス支援型共同生活援助事業所の開設について」の質疑・意見への回答

回答日：令和5年8月16日(水)

事業所名：株式会社ナイスマン

質疑・意見	質疑・意見への回答
・利用者に対し、幅広い医療的ケアを提供しているとのことだが、制限はあるか。	・制限は特にはないが、採用する看護師のレベルにもよるため、レベルを見極めつつ、社内でも教育をやっていききたいというふうに考えている。
・今まで高齢者のサービスを中心に提供してきたとのことだが、障がい者へのサービスとなると40年50年と長い付き合いになると思うがそのあたりについて思いがあればおたずねしたい。	・高齢の方と同様に障がいのある方に対しても、利用者のことを考え、長く付き合えるサービスをやっていききたいと思っている。 ・障がい福祉の分野においても、職員がやってよかったと思える仕事が多い印象がある。
・看護師を常駐するということが、人材確保面についてどのようにお考えか。	・弊社の別事業で有料職業紹介を行っているので、採用に関しては一定のノウハウは持っており、人材確保は可能であるという認識である。
・居室の図面をみると、車いす利用者にとっては狭く感じるように思える。	・今後、検討させていただきたい。
・風呂場についても、若干、車いす利用者にとっては狭いのではないか。	・1階については、寝浴用のお風呂を設置する予定で、寝て入るような身体障がいの方が1階を中心に入居していただく予定である。 ・2階については、家庭用のお風呂とリフト用具がついた機械浴を設置する予定である。車いすの方はそちらで対応することを想定している。

質疑・意見	質疑・意見への回答
<p>・ 医療的ケアに非常に力を入れられているということでありがたいが、どのような方を対象としているのか。</p>	<p>・ 高齢者に対する医療的ケアの実績でいえば、喀痰吸引、経管栄養、薬の管理、膀胱留置カテーテルの管理、在宅酸素療法、インシュリン、褥瘡の措置、中心静脈栄養、人工呼吸器の管理、気管切開の管理、腹水の介助、輸血などに対応している。</p>
<p>・ 医療的ケアが必要でない身体障がい者の申し込みがあった場合、どのように対応されるのか。</p>	<p>・ ご依頼いただいた際には必ずご本人と面会し、どういった状況なのか一旦確認させてもらう。その上で、対応可能かどうか判断する。</p>